

「洪水時の避難先に関する調査」
報告書

令和4年2月
明和町

I 調査の概要

1 調査の目的

明和町は、安全・安心な町づくりを目指し、災害に対する準備を行っています。

しかし、洪水発災時に最悪の状況を想定した場合、明和町のほぼ全域が浸水する可能性があります。

今回の調査は、町民の皆様の避難先を把握し避難施設受入体制を再検討すること、また、調査結果を基に町外への避難（広域避難）先を指定するために実施しました。

2 調査方法

本調査は、11月時点で町広報紙を配布している全世帯を対象に調査しました。

■条件 基準日：令和3年11月1日

対象者：11月号広報配布世帯

■調査期間 令和3年11月1日（月）～令和3年12月10日（金）

3 配布・回収状況

行政区	配布数	回収数	回収率
斗合田	93 枚	83 枚	89.2%
下江黒	95 枚	59 枚	62.1%
上江黒	156 枚	114 枚	73.0%
千津井	209 枚	191 枚	91.3%
江口	159 枚	110 枚	69.1%
田島	166 枚	151 枚	90.9%
南大島	360 枚	307 枚	85.2%
新里	940 枚	595 枚	63.2%
中谷	507 枚	355 枚	70.0%
梅原	380 枚	147 枚	52.5%
川俣	128 枚	98 枚	76.5%
須賀	147 枚	112 枚	76.1%
大輪	259 枚	221 枚	85.3%
入ヶ谷	36 枚	28 枚	77.7%
矢島	170 枚	163 枚	95.8%
大佐貫	218 枚	203 枚	93.1%
全体	3,923 枚	2,937 枚	74.8%

4 配布した調査表

町民の皆様へ

洪水時の避難先に関する調査

明和町長 冨塚 基輔

日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
明和町は洪水時、最悪の状況を想定した場合、ほぼ全域が浸水する可能性があります。
そこで本調査では、町民の皆様の避難先を把握し、避難受入体制を検討するものです。
今一度、災害について考えていただき、調査にご協力をお願いいたします。

地区名： _____ 家族の人数： _____ 名

問：あなたは町外への避難（広域避難）が可能ですか？

広域避難が可能な場合はこちら

広域避難先はどちらですか？
該当するものに○をつけて下さい。

A. 親戚宅
B. 友人・知人宅
C. ホテル・旅館等
D. その他 (_____)

広域避難ができない場合はこちら

町内ではどこへ避難しますか？
該当するものに○をつけて下さい。

A. 明和町役場
B. 明和東小学校
C. 明和西小学校
D. 明和中学校
E. 明和町中央公民館
G. 明和メディカルセンタービル
H. (株)大成
I. (株)アドバンテスト
J. (株)コスメ・ニスト
K. 凸版印刷(株)
L. (株)日本キャンパック
M. やまう(株)
N. その他 (_____)

※調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

担当：明和町役場総務課 危機管理係
0276-84-3111

5 留意事項

- ① 集計結果の％は、小数点第2位を四捨五入し、第1位までの表記としています。
したがって、合計が100％に満たないまたは100％を超える場合があります。
- ② 町内避難施設「県立館林商工高等学校」については、県有施設であり広域避難施設として指定される可能性があるため今回選択肢からは除いていますが、町民の皆様は問題無く避難できます。

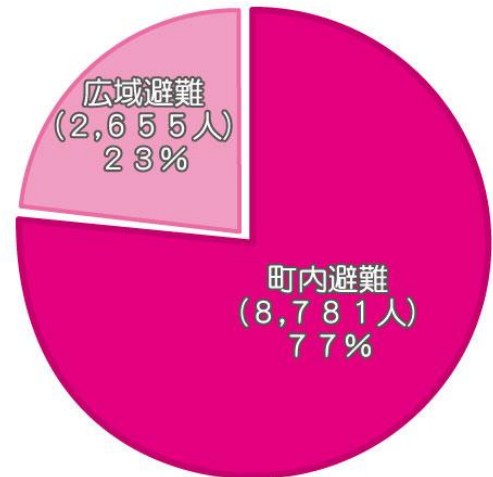
II 調査結果

※調査結果については、複数施設への回答もそれぞれ集計しています。

1 町外への避難（広域避難）が可能かどうかについて

町外への避難（広域避難）が可能であると答え方は2,655人で23%、町内避難所への避難の方は8,781人で77%（その内、在宅避難の方は834人で7%）となっています。

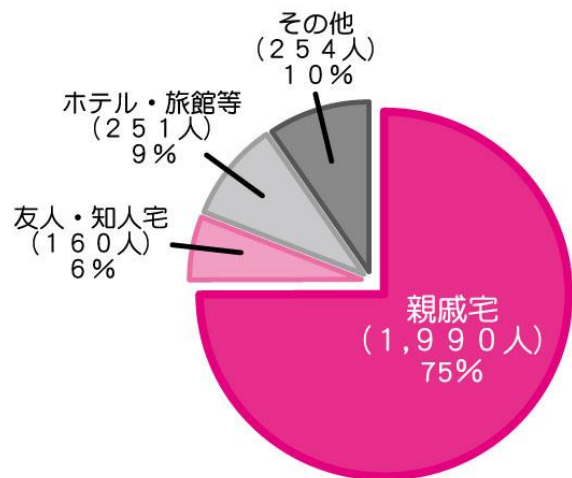
群馬県の基準で避難所収容人数を計算する場合、明和町の避難施設の受入可能人数は4,215人となっています。希望される方全員の避難は難しいのが現状です。



2 広域避難先について

広域避難先の回答は、親戚宅が1,990人で75%、友人・知人宅が160人で6%、ホテル・旅館等が251人で9%、その他が254人で10%となっています。

その他の回答としては、町外ショッピングセンター屋上駐車場、道の駅、高速道路サービスエリア等の回答がありました。

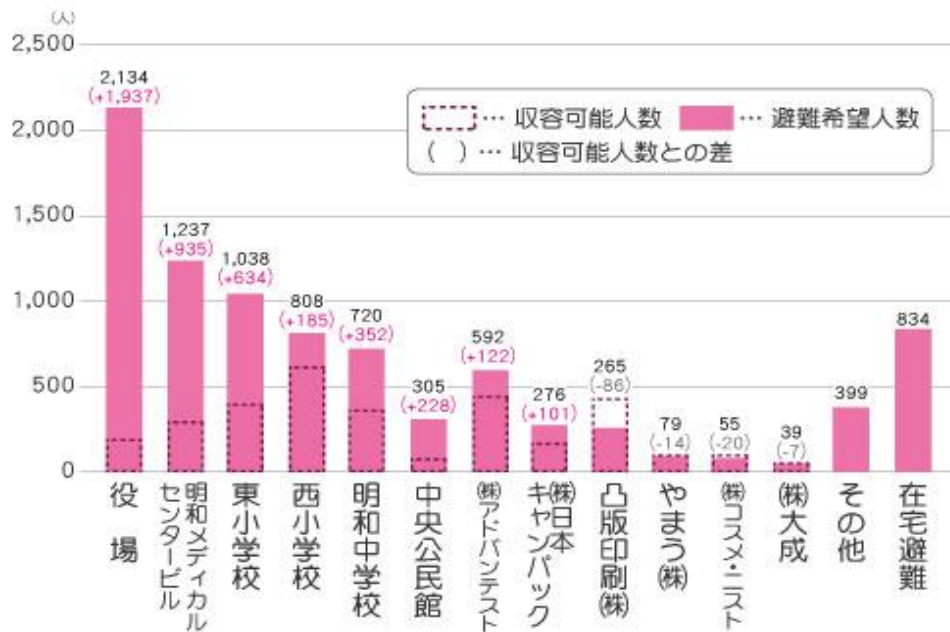


3 町内避難先について

町内避難先の内訳については、明和町役場が2,134人、明和メディカルセンタービルが1,237人、明和東小学校が1,038人、明和西小学校が808人、明和中学校が720人、明和町中央公民館が305人、(株)アドバンテストが592人、(株)日本キャンパックが276人、凸版印刷(株)が265人、やまう(株)が79人、(株)コスメ・ニストが55人、(株)大成が39人、その他が399人、在宅避難が834人となりました。

下図では、収容可能人数と避難希望人数を表しています。ほぼ全ての施設で収容人数を超過していることが解ります。

町内避難先内訳



4 自由記入への回答

Q. 台風19号の際、ペットを連れて避難しようとしたが断られた。ペットの受入が可能な施設を準備して欲しい。

A. 明和町では、社会体育館をペット受入可能施設として指定しました。ペットのみの受入のため、注意して下さい。また、ケージに入れたペットのみ受入が可能です。

Q. 利根川堤防の補強工事は行わないのか。

A. 令和3年度、国土交通省は利根川の氾濫を防ぐために利根川の樹木伐採及び河道掘削工事を行っています。河道約34,500㎡を掘削し、流域可能な面積を拡げました。今後も国土交通省の計画に基づき整備を進めますので、ご理解をお願いします。

Ⅲ 今後の取組について

今回の調査結果から、町内避難施設の収容人数に対し避難者が超過していることがわかります。この結果を受けて、町としては町内避難施設の拡充と広域避難の推進に取り組みます。

1 町内避難施設の拡充

令和3年11月に明和メディカルセンタービルが完成し、避難所として指定することや、町内企業と協力し避難場所として利用させて頂く等、様々な取組を進めています。

現在、当町では東部工業団地について事業を進めていますが、進出した企業とも連携をしていきたいと考えております。

2 広域避難の推進

町避難施設の収容人数には限界があるため、早い段階での町外への避難、いわゆる広域避難を推奨しています。

今回の調査結果を活用し、群馬県や近隣市町と連携し、具体的な避難先を検討するなど広域避難計画の策定を推進していきます。